

第2回福祉・健康部会 まとめ

日 時：平成21年9月11日（金）19：00～21：00

場 所：上京区役所2階大会議室

出席者：岡崎部会長，大井委員，桶谷委員，加藤委員，木村委員，田中委員，福田委員

次 第

1. 開催趣旨説明
2. 第1回部会報告
3. 施策及び事業について
4. まとめ
5. その他

議 事

3. 施策及び事業について

（表現等について）

- ・難しい表現が多く、理解しにくいところがある。

（追加すべき視点について）

- ・地域づくりにも若い方の力を活かしていくことが必要である。
- ・孤独死の問題は何とかしたい。色々なことをやってはいるけれども、手の届いていない人がいるということ。
- ・北区のある方は、隣の家が独居老人ということで、リボンを使って安否の確認をされている。人付き合いが苦手な人でもできるような取組が必要ではないか。
- ・孤独死を防ぐためには、孤立感のある方に対して、どのように関わってあげられるかが重要で、そのための施策が必要である。
- ・地蔵盆は、世代ごとに楽しみ方があって、交流の場になっている。
- ・地蔵盆に併せて、自主防災会の話もしている。年に一度、皆が集まる機会なので、ちょうどよい。
- ・宗教行事であるので、必ずしもオールマイティーではないことは認識しておく必要があるが、地蔵盆のように集まりの場を持つことは重要で、できれば上京区全体で、そういう取組があるとよい。
- ・交流の場づくりについては、空き部屋（家屋）を活用ということを述べるに留まり、ソフトの視点が抜けていたので加えたい。
- ・「人づくりネットワーク委員会」で遊びの見本市というイベントを年に1回している。もう10年近く続けているが、子どもはもちろんのこと、親も一緒になって楽しんでいる。
- ・イベントを経験された方が、独自に広げていくことがあるとよい。
- ・そういうイベントがあることを知らない方も多いのではないか。
- ・地蔵盆や区民運動会など、既に優れた取組をされているので、それを生かすことが重要である。
- ・地蔵盆や遊びの見本市、区民運動会など、交流の場を生かすことが福祉・健康分野でも重要である。福祉と地域の行事・文化との結びつきで考える必要がある。

- ・その際、その人の立場や状況等に応じてつながり方を工夫する必要がある。
- ・そのためには、まちの縁側やコミュニティカフェなど、多様な場づくりの支援が求められる。
- ・また地域で、世代間の縦のつながりをつくることも重要である。
- ・活動の仕掛け人の存在を欠かすことはできない。

(他の部会への関連事項)

- ・マンション問題については、地域とのつながりを持つことが、子どものためにも重要だということを、マンションが建つ前に、オーナーや地主の方に言うことが重要。
- ・その場合、気がついた方がそういう声掛けをするというように、直ぐに対応する必要がある。マンションが建ってしまってからでは遅い。